

2011年6月3日

2011(平成23)年度 私立短期大学図書館協議会 全国理事会 議事録

日 時：2011(平成23)年5月19日(木) 13:00～17:00

会 場：東京ガーデンパレス

出 席：23名(敬称略)

【本部】〈亜細亜大〉毛利和弘、〈千葉経済大〉齊藤誠一、〈大阪大谷大〉前川和子、〈カリタス女子短大〉石田孝夫、〈日本体育大〉谷口豊、〈共立女子大〉久保寿治、〈立教女学院短大〉篠原智子、〈新潟青陵大〉高野聡、〈山野美容芸術短大〉久保田智弘、〈国際学院埼玉短大〉齋藤千枝子、〈文化学園大〉小野恵子、以上11名

【地区】〔北海道〕〈北海道武蔵女子短大〉要春光・玉田清市、
〔東北〕〈青森大〉菅勝彦・下山修司、
〔関東・甲信越〕〈青山学院女子短大〉小林陽子、
〔東海・北陸〕〈愛知江南短大〉高橋由紀・山形容子、
〔近畿〕〈関西外国語大〉三村裕紀、
〔中国・四国〕〈香川短大〉竹安宏匡・小野加代子、
〔九州〕〈近畿大学九州短大〉緒方章嗣・平山紀子、以上12名

司会進行：谷口(本部事務局) 記録：久保(本部事務局)

配付資料：①議事次第・役員名簿他②全国総会議案書③各地区報告書④北海道地区協議会通信No. 33

議 事：

1. 会長挨拶(毛利氏)

理事会の目的には、大きくは総会準備、地区活動の情報交換・運営管理、協議会の組織体制のあり方があるので、検討に協力を願いたいとの挨拶があった。また、今回は、大震災対応検討のため、例年より1時間繰上げての開催としたとの報告があった。

2. 自己紹介(北海道地区から出席者名簿順、推薦理事)

3. 新たな協議会体制・役員体制と引継ぎについて

谷口氏より、発足時からの経過報告があり、加盟館数の大幅な縮小(ピーク時1997年338館、2011年166館)により運営が厳しく、2003年度からの輪番地区分担体制の方向転換が必要となり、本部理事体制への移行が昨年12月の臨時理事会で基本的に了承された旨報告があった。

会長より、推薦理事4名を会務の各担当者とし、本部に窓口担当者を置く旨の説明があり、研修担当の齊藤誠一氏、会報担当の前川和子氏、研究誌担当の木村修一氏(欠席)、名簿担当の石田孝夫氏が了承された(規約により、総会の承認を得て最終決定となる)。また、規約に基づき、理事の互選により、齊藤氏の常任理事が決定した。なお、各推薦理事から改めて自己紹介があった。

4. 東日本大震災対応について

谷口氏より、東北、北海道、関東甲信越地区を対象に被害状況調査を行ったこと、また、関東地区も被害を受けており、地域によりかなり差があるとの報告があった。

会長より、見舞金については、関東地区でも見られた本の落下程度を除き、かなりの書架が倒壊しているなど、被害程度の大きい東北地区3館(調査報告による)を対象に、見舞金として年会費相当額を当てる旨の提案があり、了承された。なお、今回の調査は、各館の自由記述によっているの
で、最終的には再度の聞き取りの必要性があるという見解が示された。

また、日本図書館協会から、「各図書館団体で行う講演会・研修会において義援金箱を置いて寄付を募ってほしい」との要請があるので、明日の総会・講演会受付で呼びかけたいと提案があり、
了承された。

5. 各地区事業報告

北海道から九州の順で地区の状況、本年度の会勢と事業計画案の報告があった。

- ・北海道地区から、現在10館がさらに減少する可能性があるとの報告があった。
- ・近畿地区から、地区協議会の決議として、「近畿地区交付金・助成金を見舞金に充ててほしい」との要請があり、決議を尊重して本部預かりとして検討することになった。また、地区役員輪番制のために、内規改訂を行ったことが報告された。

6. 総会について

(1) 議案の確認について

事業報告、決算・監査報告、新役員・新体制、事業計画案、予算案の確認を行った。

(2) 新体制に関することについて

- ・次回2012年度の全国研修会は、従来の分担制の担当地区である近畿地区が担当することを確認しているため、研修担当の齊藤常任理事は、2014年度の全国研修会(本部および関東・甲信越地区担当)からの担当となる。
- ・広報関係では、前川理事が全国会報の発行を担当し、高野幹事が『図書館年鑑』の取りまとめを中心に担当する。
- ・研究誌担当の木村理事は、『短期大学図書館研究』の編集刊行。
- ・名簿担当の石田理事は、ホームページ・メーリングリストの管理も担当する。

(3) ホームページ改訂・契約について

谷口氏より、質問に答える形で、ホームページのメンテナンス態勢について、次のような報告と確認がなされた。

- ・役員館が交代しても、どこでも担当できることを優先して、業者委託としている。
- ・地区名簿は、様式を統一せず、各地区ごとに使い勝手のいいもので掲載できるようにしてある。

- ・各地区の担当者は、メーリングリストに登録するものを単なる代表アドレスではなく、日常的に見ているアドレスにし、そして、担当者が交代する際は、きちんと引継いでいただきたい。
- ・地区のメーリングリストを大いに活用していただきたい。
- ・地区事情で当初添付ファイルが禁止されていたが、具体的には地区ごとの運用をお願いしたい。
- ・近畿地区より「入会案内をトップページに置いた方がいいのでは」と提案があった。
- ・入会案内、メーリングリストのマニュアル更新等については、本部で検討する。

(4) 会費納入について

本部会計の久保田氏から、昨年度は全国研修会開催の資金調達のため、会費納入の地区締切を6月末にし、今年は7月初旬に納入時期を変更したが、諸事情がある場合は、各地区の状況に合わせ、個別に相談したいとの説明があった。

(5) 研究誌について

「地区ごとの本数を指示した編集内規があり、地区の研修会テーマ設定の際、実習などの論稿化しづらいものを選びにくいという制約がある」という意見に対して、会長より、「論稿化は、全加盟館が共有して自己研修の資料とするものなので、内規の本数にこだわらなくてよい」、「研修会や事例発表の講師にできるだけ論稿化をお願いしてほしい」と、あらためて要請があった。

(6) 総会の議長を北海道地区の玉田清市氏にお願いした。

7. その他

- ・ボランティアで震災現地に赴いた齊藤常任理事（日本図書館協会施設委員）・石田理事（短大高専図書館部会長）より、現地の被災状況、ボランティア活動等について報告があった。
- ・石田理事より、10/13・14開催予定の全国図書館大会・多摩大会の呼びかけがあった。
- ・会長より、研究誌の賛助会員(広告)募集にあたり、資金確保のためにも各地区の協力を求めたいと呼びかけがあった。なお、賛助会員については、研究誌の一覧や広告面に掲載するだけでなく、同送メールを使うなどして、全加盟館に紹介する対応などを考えたいとの報告があった。

以上